

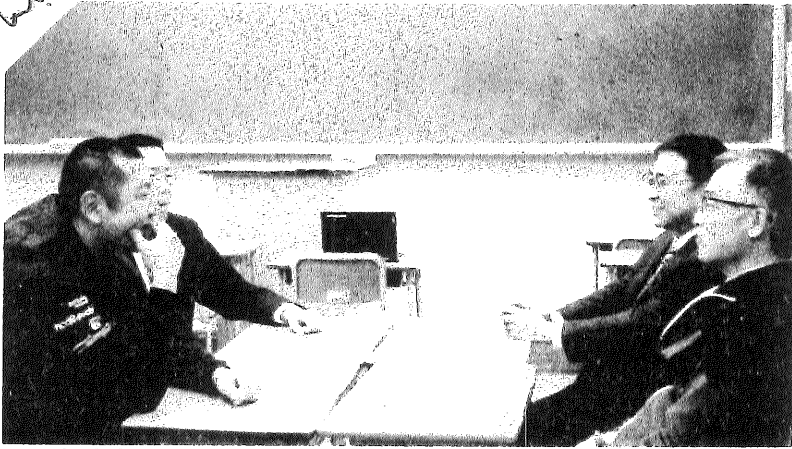
祝 * 卒業



発行所
網走南ヶ丘高校
報道局
発行責任者
歌丸晃成

想いを語る座談会

創立100年の卒業を記念して、本局は3年次第1担任による座談会を行なった。ここでは3つのテーマを元に、3年間をとともに歩んできた生徒たちへの思いを語ってもらった。

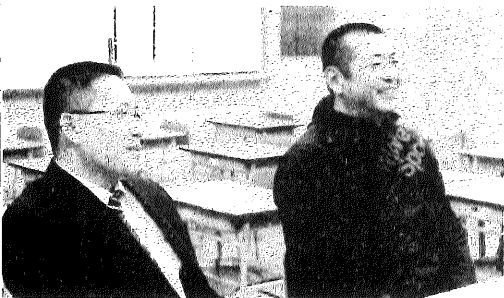


▲ 座談会での先生方の様子

「3年間の思い出は何か？」

最初に先生たちの口からついて出たのは、“コロナ”という言葉だった。今の3年生が1年

2年生でも流行の拡
大は収まらず、3年生で
は進路関係で慌ただし
くあつという間だった



▲ 内田先生、草野先生

と語つた。

「クラスの長所」

次のテーマの”クラスの長所”については、それぞれのクラスの担任から答えをもらった。

内田先生によるとA組は全体的に真面目で、人の話に耳を傾ける雰囲気があるそうだ。教師の立場からすると助かる面が多いのではないのだろうか。

B組はA組よりもさとの言葉もあつた。

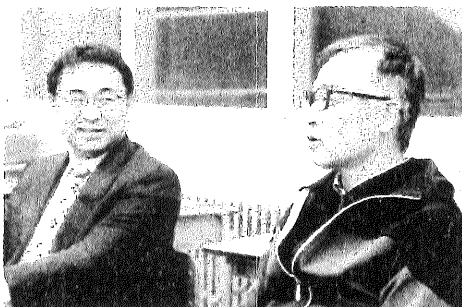
らに落ち着いた雰囲気だが、周りに強要されてそうなっているわけではなく各々がおおらかであるようだ。

C組は良くも悪くも明るく、草野先生から

D組は団結力があり、教師が手を貸さずとも自分たちだけで淡々とこなすそう。学校行事ではその団結力を生かして良い結果につながった。

「3年間で最も成長を感じたところ」

この質問については、たくさんの答えが上がった。特に多かったのは、自分たちで考え動くようになったところ、という答えだった。先生方いわく、この学年は担任の平均年齢が高く、自



▲ 新井先生、鈴木先生

クラスへ一言

最後に、ありがちではあるがそれぞれの担任したクラスへ一言ずつメッセージをいただいたので紹介する。

A組 内田篤史先生

今後壁にぶつかるこ
とがあつても、諦めず
頑張つて欲しい。

B組 新井繁先生

幸せになつてくださ

C組 草野彰吾先生

たくましく生きてく
ださい。

D組
鈴木明宏先生

森を見ろ、柳になれ。